

Ⅱ 「療育センター若楠療育園の取り組み」

久保田 智彦 先生

療育医療センター若楠療育園 歯科部長



【略歴】

1989 年 福岡歯科大学歯学部歯学科卒業
福岡歯科大学麻酔学講座入局
1991 年 福岡歯科大学附属病院歯科麻酔科医員
1992 年 福岡歯科大学歯科麻酔学講座助手
1994 年 医療法人発達歯科会おがた小児歯科医院勤務
1996 年 福岡歯科大学高齢・障害者歯科学講座助手
2001 年 福岡歯科大学成長発達歯学講座障害者歯科学分野助教
2013 年 社会福祉法人若楠療育医療センター若楠療育園勤務
現在に至る

日本障害者歯科学会認定医・指導医、代議員

日本歯科麻酔学会認定医、代議員

抄録

若楠療育園について

当園は昭和 53 年に重症心身障害児施設として開設、入所者に療育を開始しました。現在まで歯科以外に小児科・精神科・内科、リハビリテーション科、児童発達支援等を地域で行い、医療と福祉の機能を持った施設となっています。法人の関連施設として知的障害者授産施設「青葉園」、知的障害者更生施設「若木園」、知的障害者通所授産施設「どんぐり村」があります。

歯科の現在までの経緯

佐賀県には障害児・者のために歯科の高次医療を行う口腔保健センターはありません。また、障害者歯科を専門にしている病院歯科も少ない状態です。当園の歯科は開設当初より入所者や関連施設の患者を対象に診療を行っていました。しかし、地域のニーズや専門性のある歯科医療を提供すべきとの考えで、佐賀県東部地区の障害者歯科の拠点となるために平成 25 年より障害者歯科認定医が常勤となり、外来診療にも力を入れるようになりました。同様に地域の歯科診療所との連携も行っています。

歯科の現状

歯科の対象患者は乳児から高齢者までとなっています。基本的に障害児・者としていますが、有病児・者も診療しています。近年は児童発達支援を受けている幼児、学童が増えている印象です。

歯科診療の流れは、基本的に初診時の問診、口腔内診査、処置、定期診査と一般に行われている内容と大きな違いはありません。ただ一つ、患者を診療する上で何らかの特別な配慮が必要な点があります。

患者の発達年齢、身体の成長、姿勢、呼吸、血圧などの精神や身体の状態に加え社会性を把握して、行動変容法や行動調整法を立案し、歯科治療計画と組み合わせます。行動変容法を取り入れることが多いですが、治療内容によっては精神鎮静法、全身麻酔法を選択することもあります。

現在の課題

患者や家族、支援者について診療をしているだけでは気付かない日常生活での課題が見つかることがあります。また歯科においては医療の質の維持、他の職種との連携などが挙げられます。

地域、診療所、病院など立場によっていろいろな取り組み方法があると思います。みなさまのご意見等をお聞かせください。